

議会だより

とっえい

G I K A I D A Y O R I
2014.2.1

No. 105

第4回定例会【12月】



CONTENTS

年頭のあいさつ.....	P02
12月定例会・条例・補正予算.....	P03-04
臨時会.....	P05
一般質問.....	P06
東栄病院・管外視察研修・管内視察.....	P07
I Uターン・議会活動報告・中学生議会 ・編集後記.....	P08

※写真：空手道クラブ 志成館



議長 初澤宣亮

新年のご挨拶

新年明けましておめでとございます。

皆様方には、穏やかで輝かしい新春をお迎え出来ます事をお慶び申し上げます。

昨年は異常気象の影響が各地で起こりました。集中豪雨や夏の異常高温、季節はずれの台風二十六号で伊豆大島は大規模土砂崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。

幸にも本町においては大きな災害はありませんでしたが、近年は異常気象がもたらす気象災害が多く発生するようになり安心はできません。

年末には、東三河の懸案でありました「設楽ダム建設」に愛知県知事が建設を容認する考えを表明し、今後建設再開に向けた動きが

本格化すると思えます。

新しい年は景気回復、社会保障、原発問題、外交問題等々、大きな変革・推進が期待されることも地方自治体も大きな転換期を迎えようとしています。

昨年本町は、「元氣東栄町再生！」として九月には「木のぬくもりのある新小学校」が完成し、関連する学校給食共同調理場や放課後児童クラブの完成もまじかでございます。

定住対策としての「地域おこし協力隊」の受け入れ、昨年より継続の「空き家の改修と貸付」等にて、若く活力ある人材の受け入れ、また、高齢者対策としての安否確認等のタブレット（端末機）による実証実験も行われます。

また、三遠南信自動車道の佐久間・東栄間の佐久間トンネルの掘削も始まり、鳳来峡インター間の調査、用地買収も進んでいます。

昨年の町議会運営といたしましては、「中学生議会」を引き続き実施しました。社会科学の授業の一環



で「議員」として、少子高齢化対策や町おこし、観光振興策など町執行部に問い、定住促進の取り組みやB級グルメの開発については「検討する」旨の回答を得ました。

今年「午年」です。馬にちなんで「スピード感と力量感」を持つて、住民の皆さまとともに「安心して暮らせる町づくり、地域づくり」を旨とすとともに、多様化する住民のニーズにこたえるよう、執行部と議会が一体となつて、町政運営に努力して行く所存でございます。

町民の皆様方には、更なるご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。この一年が皆様にとって幸せ多い年であります様、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



町長 尾林克時

年初にあたり

平成26年の清々しい新春を迎えられましたことを、皆様方と心から祝福申し上げます。議会や町民の皆様のご理解やご支援を賜り、町政が滞りなく進んでおりますこと心から御礼申し上げます。

特に悲願でございます。した新東栄小学校が、木造平屋建てで完成致しましたことは喜びに堪えません。これも県から用地を無償に近く譲渡して頂きました事や、多額な国庫負担金を頂いた事に尽きると

衷心より感謝申し上げます。

続いて、本年度は東雲寮の改修工事と旧本郷校舎の庁舎への転用による実施設計をしております。庁舎は皆さんの安全と安心を確保する防災の拠点施設となるべく、町の財政等綿密な財政計画を図り、新築でなく安価な改修工事で利用するように検討しております。

今後も、新小学校周辺の広大な地域を「療養型福祉タウン構想」も視野に入れながら、行政・福祉・教育のシンボルゾーンを目指して参りたいと思っております。本年度の政策として、高齢者や1人住まいの方に安心して暮らして頂くように、「アイパッド」を使用した双方向による映像通信を含めた安否確認を、全国に先駆けて試験的に導入致しましたので、本格実施に向けて研究して参ります。

また、町内の防犯・

安全をより堅持するよう、「セーフティステーション」を温泉の交流館に設け、専任者を配置し、町内の交通安全の啓蒙やトラブル等にも敏速に対応できる体制を強化します。

楽しい町づくりとして、NPO団体「てほへ」との協働作業で、旧東部小に図書室を併設したカフェやピザ釜を設置して、多くの皆様が集え交流出来るスペースを確保したいと考えています。

最後になりますが、今まで重要な政策は全て諮問委員会に諮り、その答申に沿って実施して参りました。本年度任期最後の年となりますので、その総仕上げをしたいと考えています。

どうか、職員一同と希望の持てる町づくりを目指して頑張りますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願いいたします。（公章）

12月定例会

12月定例会は、12月3日から12月13日まで11日間の会期で開催されました。

初日の本会議では「会期」などを決めた後、町長より「提出議案38件の大綱説明」が行われ、その後「委員会付託」等を決めました。5日には1名が「一般質問」をしました。6日に「文教福祉委員会」、9日には「総務経済委員会」がそれぞれ開催され、付託された議案の審査を行いました。13日の本会議では追加上程された「委員会の継続審査」を含む、すべての案件がいずれも原案どおり可決されました。

こんなことが決まりました【条例関係】

① 放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の制定について

利用対象児童

- ・東栄小学校の1年生から3年生までに在学していること
- ・保護者が労働、疾病その他の理由で昼間家庭にいない適切な監護ができない
- ・特に必要があると認めたときは、4年生以上も利用できる

使用料月額

- ・7月-4100円 8月-5000円 その他の月-2500円
- ・利用回数が15回未満の場合は日額とする



放課後児童クラブ

② 公共建設発生土処理場の設置及び管理に関する条例の制定について

処理場の名称及び位置

- ・横見処理場 三輪字横見41-1

使用料

- ・1㎡あたり単価 170円



横見土地

③ 町税条例の一部改正について

- ・地方税法の一部改正に伴い必要のもの

④ 職員の給与に関する条例の一部改正について

- ・給与法改正に伴い、55歳を超える職員の昇給を抑制するため

⑤ 地方税法の一部が改正され、これに伴い延滞金の割合を改めるもの

- ・「国民健康保険条例の一部改正について」ほか7件

⑥ その他地方税法及び消費税法の一部が改正され、これに伴い使用料・手数料及び延滞金を改めるため必要があるもの

- ・「町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」ほか19件

⑦ 学校給食共同調理場建設工事請負契約の変更について

変更前の工期 平成25年 7月26日～平成25年12月12日

変更後の工期 平成25年 7月26日～平成26年 2月25日



12月補正予算関係



会計別	補正額	予算総額
一般会計	3491万円	36億4015万円
特別会計	943万円	16億5521万円
病院会計	72万円	1億4922万円

■ おもな事業内容及び予算額

- ① 市場集会所土地購入費 500万円
 - ・借地であったものを地主の要望もあり購入
- ② 環境林整備委託料 255万円
 - ・森と緑づくり税の枠外を切り捨て間伐（公的森林整備）
- ③ 里山林環境整備事業補助金 100万円
 - ・公道沿線で概ね幅30m以内、その他環境整備が適当と判断される箇所
- ④ 住宅リフォーム事業補助金 200万円
 - ・居住住宅の改修、模様替工事などを実施する場合の補助
- ⑤ アンテナ設置工事費 10万円
 - ・アマチュア無線用アンテナを、通信状況の悪い地区に設置
- ⑥ 小学校机・椅子購入費 53万円
 - ・新入生 22名分
- ⑦ 国際交流費補助金 50万円
 - ・教育振興費（カナダメドウリッジ校来町）
- ⑧ 防犯灯設置工事 11万円
 - ・中学校通学路へ2基
- ⑨ 学校給食共同調理場費 747万円
 - ・既設調理場等解体及び渡り廊下改修等
- ⑩ 中日ドラゴンズ東栄野球教室 65万円
 - ・講師謝礼等
- ⑪ テニスコート制御盤取替等修繕及び遠隔操作設備配線張替 456万円
 - ・老朽化によるもの
- ⑫ 林道施設災害復旧工事 420万円
 - ・小田線（川角方面は現在通行止め）



市場集会所



給食センター



小田災害復旧



第3回臨時会(10/17) 主な質疑から

平成25年度 一般会計補正予算

高齢者等 安心ネットワーク事業の 関係質疑

問 試験運用費用はWi-Fiの設置・設定まで含むのか。また業者との共同開発になるのか？

答 通信環境の設定費用も予算として出している。共同開発は本格導入ではその可能性もあるが、今回はそうっていない。

問 共同開発でなければ、今後は一般の事業として契約を考えるのか？

答 新たな入札で業者を他にすることは考えていない。試験運用後、国から補助金をもらえるように考えたい。

問 機器の設定後、高齢者の操作をサポートする体制はどう想定しているのか？

答 業者が直接サポートすることは考え

ていない。作業(部会)チームがメインになってサポートし、包括支援センター・福祉施設・民生委員からも指導して頂き費用はかけない。

問 北設情報ネットやADSL・INSなどを使っていて人は、機器の端末だけを留意すればどうか？

答 本格運用になって、北設情報ネットやADSLなどの通信環境があれば、Wi-Fiの端末(ルーター)を付ければ、タブレットが使えらる。その場合は、ソフトウェアの保守料金とタブレットの購入費用で済む。



タブレット

問 テストをした結果で、本格運用を改めて判断すると町長もコンサル社長も言っていたが、それを基本として、作業部会を進めてきたというところでよいか？

答 テストをして本格運用に移る際は慎重に判断すべき時が来ると思う。国の助成金も来年、場合によってはさらに1年伸びる可能性がある。

問 町の総合計画・福祉計画・過疎計画との総合的な調整や高齢者のニーズ調査の二つが必要ではないか？

答 いま事業をするという位置づけではない。テスト運用すればおのずと結果が出てくる。

問 今回の予算では、端末などの機器を業者に提供してもらうことはないのか？

答 機械機器の購入は入札を考えている。今回はリースをしても利息が高く、それを負担してくれる業者はいない。

問 北設情報ネットの事業で、今回のような事業をやるのではな

かったのか？ さらに負担が増えると思うが。

答 北設情報ネットでできない。役場のADSLに接続すれば双方向受信ができる。

問 ソフトは町に合った使い勝手の良いソフトの開発が一番だと思ふ。開発にこちらの要望も入るのか？

答 テスト運用でソフトの変更は考えていないが、本格運用の費用でソフトを開発するように考えている。

討論と採決

反対 伊藤芳孝 議員

北設情報ネットなどに年間4000万円以上の負担がある。これら既存のシステムを有効活用するのがあるべき姿。事業化した場合の総事業費や利用者負担、高齢者のニーズも分からないなかでは、時期尚早であり本補正予算に反対する。

賛成 平賀英俊 議員

三遠南信自動車道の残土処理のための用地買収

は工事の着工・進捗に大きな影響がある。高齢者ネットワークは高齢者の見守りなどへの方法の構築、ツールの用途を探る判断材料になる。本補正予算に賛成する。

○「賛成」挙手多数(5名)で可決。



第4回臨時会(11/11) 主な質疑から

東栄町公共建設発生土処理場用地取得について(※)

問 9月定例会で出された6ヶ所の処理候補地の利活用の検討と、今回の土地(横見)の工事との時間的な幅(ズレ)はどうか？

答 役場内部の「利活用検討委員会」で検討している。横見も「太陽光発電」「木材集積所」などの案も出ている。利活用計画は2月末を目途に策定を進めている。

※地方自治法第96条に基づいて政令・条例に定められた財産の取得及び処分には議会の議決事項となっています。

タブレット端末とは…
タブレット(平板)型で液晶の画面に指先をあてながら操作する。ノートパソコンより小さく軽く、スマートフォンより大きい。インターネット検索や電子メール、動画、電子書籍、ゲームなど数多くの機能が盛り込まれている。システムのOSとして、iOSやAndroidなどがある。

問 残土処理の完成を待たずに利用計画が出来るのか？

答 候補地はいくつかあり、計画を2月末までに固めたい。

【採決の結果】

土地取得に同意(全会一致)

※地方自治法第96条に基づいて政令・条例に定められた財産の取得及び処分には議会の議決事項となっています。

一般質問 ダイジェスト & 答



お年寄りが安心して暮らせる 福祉政策の推進

加藤 彰男 議員

高齢化率が50%近い東栄町にとって、高齢者の方々の暮らしをどう支えていくかは、町政における最重要課題のひとつである。介護保険事業は、利用者も含めて被保険者にとつては、サービス内容を理解して判断することが難しい現実がある。

改めて東栄町の高齢者の方々の状況を具体的に把握・分析し、自治体として地域の「高齢者への政策・事業」を総括して、新たな展開を考えなくてはならない。以下の回答を求める。

介護保険制度内のサービスの提供で、移行後も事業・財源も変わらないようである。平成28年度末までに事業が移行する方向だが、現時点では不明確なことが多く、シミュレーションの準備段階ではないと考える。

「要支援」向けサービスは、地域の介護予防事業などにもつながる事業である。そのためには介護保険事業を包括する「老人保健福祉計画」としての幅広い計画づくりが必要と考えるが。



介護予防事業 まめともクラブ

策定するので、幅広い計画づくりが必要と考える。

問 次期介護保険制度の「見直しの柱」といわれる「要支援」向けサービスを市町村に移管した場合のシミュレーションの準備は。

答 福祉課長

国の社会保障審議会の部会で議論が行われている。「地域支援事業」は介

答 福祉課長

「老人保健福祉計画」は老人福祉法で、併せて計画する市町村「介護保険事業計画」は介護保険法に基づいて定め、介護保険事業での給付対象をサービスの種類ごとに量の見込みを計画する。老人保健福祉計画と介護保険計画は一体のものとして

問 近年「高齢者の権利擁護」として、「成年後見制度」や「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」などがあるが、新しい「市民後見」の制度も含め、高齢者本人を始め家族にも周知していくことが必要と考えるが。

答 福祉課長

成年後見制度の必要性は一層高まってきておりその需要はさらに増大すると見込まれる。弁護士

などの専門職による後見人だけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を育成及び活用する取組は必要だと考える。地域福祉権利擁護事業は社会福祉法に基づく制度で、社会福祉協議会で事業を実施し、地域包括支援センターも相談業務等を行っている。広報紙等を利用した町民に対する周知や、高齢者福祉等に関する機関への研修も含め、県や弁護士会、司法書士会等の専門職からの協力を得ながら計画的に啓発活動を行いたい。



日常生活自立支援パンフ

答 総務課長

県下の状況は30市5町（県下自治体・54市町村）で運転免許証自主返納支援事業が取組まれている。35市町の支援策は身分を証明する「住基カード」に加えて、「啓発グッズ」「バス利用券」等支援する自治体がある。山間地での移動手段は自家用車がなくてはならない。運転免許証の自主返納をすれば自由な移動が制限されるため、自主返納の支援策を講じても返納していただけないのではないかと。ただ、高齢者の安全、家族の安心を考えると、支援事業を創設することで、運転免許証返納のきっかけとなればとも考えている。

問

東栄町は山間地の過疎の町として、自家用車が日常の主要な交通手段という特徴的な条件を持っている。日々

の高齢者の暮らしを安全・

東栄病院決算と診療等体制計画

東栄病院院長、事務長から上半期の決算報告・診療等体制計画の説明を受けた。

決

算では昨年同期と比較して一般入院患者・外来患者の減少に伴い医業本体で1777万円の減となっている。

診

療等体制計画案については、25年4月現在の常勤職員84名が26年4月見込みでは5名減の79名となり、看護師の確保が一番大きな課題である。募集しても状況が変わらなければ外来当直看護師を廃止し、それに伴い救急車の対応時間を午前8時半から午後7時まで制限を行う。また救急車で来院する患者以外の緊急患者の対応についても、電話連絡後受診をお願いしているが、専属の看護師が不在となるため対応ができるかの課題が残る。

更に、午後診療を週3日から2日に縮小することも大きな問題点であり、4月1日からの診療体制の再編を考えている。

問

救急がなくなるのか。

救

急がなくなる訳ではなく搬送先が遠くなる。搬送については明確な基準が設けられているが、北設の場合近いからの理由で東栄病院に搬送されているが、今の医療の流れは、広域化による連携体制、役割分担が明確になっており、例えば脳卒中であれば豊橋・豊川・蒲郡の3つの病院が急性期の病院で、新設は回復期の病院。東栄はリハビリも終えた後の治療をする位置付けの病院である。病院で救急を受け入れる以上それなりの検査と見立てが必要で、送り先の病院からも求められる。

緊急の患者さんをどう対応するのか院内でも詰めるなければいけないし、消防署と救急の事例検討会を定期的に行っているが、保健所を含めて十分協議する必要がある。

今後地区懇談会で内容の説明を行い、皆さんのご理解を得たい。



管外視察研修

平成25年11月26日・27日

長

野県小谷村・富山県高岡市へ議員・執行部他15名で視察を行った。

26

日の小谷村は、長野県の西北端に位置し、人口約3200人、高齢化率35・55%の村である。平成24年4月に役場観光振興課内へ新たな地場産業と雇用の創出を目的とした「特産推進室」を発足させ、都市部から地域おこし協力隊員12名、村民の中から集落支援員6名を募り、村・地域集

落の課題に互いに連携し一体となって村づくり地域づくりに取り組んでいる。中でも、空き家を資源として住民と連携し古民家利活用のモデル的事業として交流施設を整備している事は特筆している。

全

国展開プロジェクト「山菜・きのこ・山岳果実を活用した特産開発」、「着地型旅行商品

所

開館した。

蔵するクラシックカメラによる常設展示は全国的にも稀で、第一線で活躍する写真家による企画写真展、地域の写真活動を紹介する展覧会などを開催し、カメラと写真、映像文化の普及レベル向上の役割を担っている。

開

館より平成24年度までの総入館者は約21万8千人、最近3年間は38744人で、有名写真家の企画展では1日当り最高88人の入場者があった。高岡市から指定管理を受けた公益財団法人高岡市民文化振興事業団が運営している。

下

田追分の土地は、みよし市に本社を置く鉄工所に売却の話が進んでいる。企業が進出されることは、喜ばしいことではあるが特に環境対策等には慎重な対応が必要である。

旧

東部小学校は「NPOでほへ」に運営を委託し、町民と来訪者との交流拠点として活用するよう、今後町・NPO・地元住民と打合せを進める。

地

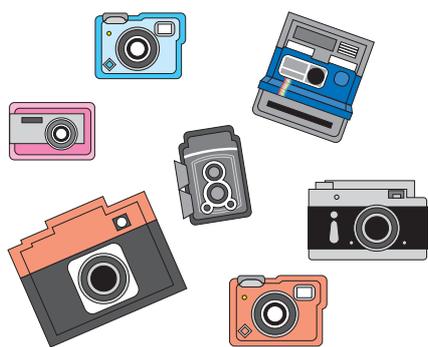
域おこし協力隊が携わるシルバー人材センターで行われている菌床椎茸、旧東中の講堂での山菜室内栽培の実証実験は今後さらに研究を重ね実用化に向けて努力されている。

管内視察

平成25年11月15日

東

栄中学校敷地内に建設中の給食センターは工期が遅れている。年度内に完成運営できるように望む。



●「Uターン」コーナー
第11回
渡辺和弘さん
ご家族
美紀さん



東栄町に来て感じたことや印象など？（美紀さんのコメント）

東栄町での暮らしも、早いもので5年になりました。豊根村から来た私にとつて、最初は不安ばかりでしたが、周りの人達の温かさのお蔭で今では随分慣れてきました。

子ども達も友達に恵まれ、毎日楽しく過ごしています。夏にはひっかけ冬には私の大好きな花祭り。色々な行事に参加させていただき、地元の人々から学ぶ事が沢山あります。そんな伝統を守りながらも、友達だけでなく大人の方とも絆ができていたら嬉しく思います。



そして最近では、三遠南信道路の整備も進み、活動範囲が広がった事を実感しています。今後は、東栄インターチェンジができる事によって、通勤通学、勿論遊び等今まで不便だった事が改善され、東栄町の良さを沢山の人達に伝え、より一層住みやすい東栄町になる事を期待しています。これからも、宜しくお願ひ致します。

議会活動報告

10月

- 2 竹内敏信写真展オープニングセレモニー
- 3 東三河懇話会
- 3 中電新城営業所来庁表彰審査委員会
- 5 豊川駐屯地創立63周年記念行事
- 6 町ゲートボール大会
- 8 編集委員会
- 10 編集委員会
- 12 県議長会行政調査
- 15 東栄小学校運動会
- 17 編集委員会
- 20 議会全員協議会
- 町防災訓練

11月

- 21 三重県紀北町視察
- 22 編集委員会
- 24 岡山真庭市議会来町
- 24 郡正副議長会
- 26 葬祭棟視察及び親睦会
- 26 町政功労表彰式
- 26 文化講演会
- 27 郡ゲートボール大会
- 27 芸能まつり
- 28 東栄シルバーまつり
- 28 議会運営委員会打合せ
- 29 中学生議会打合せ
- 29 東三河議長会陳情
- 30 第65回愛知県町村議会議長定期総会
- 30 三遠南信地域市町村議会議長協議会総会
- 31 三遠南信、浜松三ヶ日、豊橋道路建設促進議員協議会総会
- 31 中学生議会
- 1 保・小・中定期監査
- 3 東栄フェスティバル
- 5 総務省陳情
- 9 東栄中学校文化祭
- 11 議会臨時会
- 12 北設広域議会理事会
- 13 第57回町村議長会全国大会
- 14 国会陳情
- 15 建設課関係陳情
- 15 全国過疎地域自立促進連盟定期総会
- 18 道州制講演会
- 19 病院理事・評議員会
- 21 議会運営委員会
- 22 郡正副議長会
- 26 県との行政連絡会
- 27 管外視察

12月

- 3 第4回定例会 初日
- 3 議会全員協議会
- 5 一般質問
- 6 文教福祉委員会
- 7 第8回市町村駅伝
- 9 総務経済委員会
- 13 第4回定例会最終日
- 15 中日ドラゴンズ野球教室
- 19 新城防火協会年末役員懇親会
- 21 設楽町新庁舎落成式
- 24 新城北設楽郡交通災害共済組合定例会
- 25 北設広域事務組合
- 27 年末警戒巡視

【町政を問う】
中学生議会
 平成25年10月31日

3 年生の社会科の授業として、町の将来を思う中学生が、日頃感じている事や町の活性化等に関し、調査研究をされた質問や提案が出されました。



執行部も真摯に答弁をされ、成果の一つとして学校登坂に防犯灯設置の予算がつけました。

（一般質問事項）

- ・東栄町就業支援
- ・お試し定住制度
- ・人づくり奨学、奨励金
- ・子育て支援策
- ・特産物開発について
- 東栄チキン
- ・B級グルメの開発
- ・ウォーキングコース案
- ・新しいイベント開催案
- ・観光施設の充実とPR
- ・とうえい温泉ホームペー
- ージの工夫について

編集後記

年末に私の周りでは5人の方が旅立ち、東栄町の人口が日に日に減少する事実を目の当たりにした。我が家では、年末・年始にかけて大きな孫台風が通り過ぎた。「孫は来て嬉しく、帰って嬉しい」と世間で面白おかしく言われている言葉を実感しました。

新年を迎えた朝、今年の町政の平穩無事を願ひ私達に与えられた使命をしっかりと心に刻み、「町民の皆様の声に耳を傾け、改めて是々非々で町政に望むこと」を、地元の氏神様に誓いました。

- 編集委員会
- 委員長 伊藤芳孝
 - 副委員長 村本敏美
 - 委員 佐々木嘉朗
 - 委員 加藤彰男
- 発行責任者 議長 初澤宣亮



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と環境に優しい植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会
 〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505